

つくばグローバル・イノベーション推進機構「戦略会議」設置について

つくばグローバル・イノベーション推進機構は、このたび戦略会議を設置することとなりました。
当機構は、つくばの産学官連携の核となる組織として活動を本格化させ、つくば国際戦略総合特区の推進に寄与していきます。

記

「つくばグローバル・イノベーション推進機構 戦略会議」について

議 長 つくばグローバル・イノベーション推進機構 中村道治 機構長

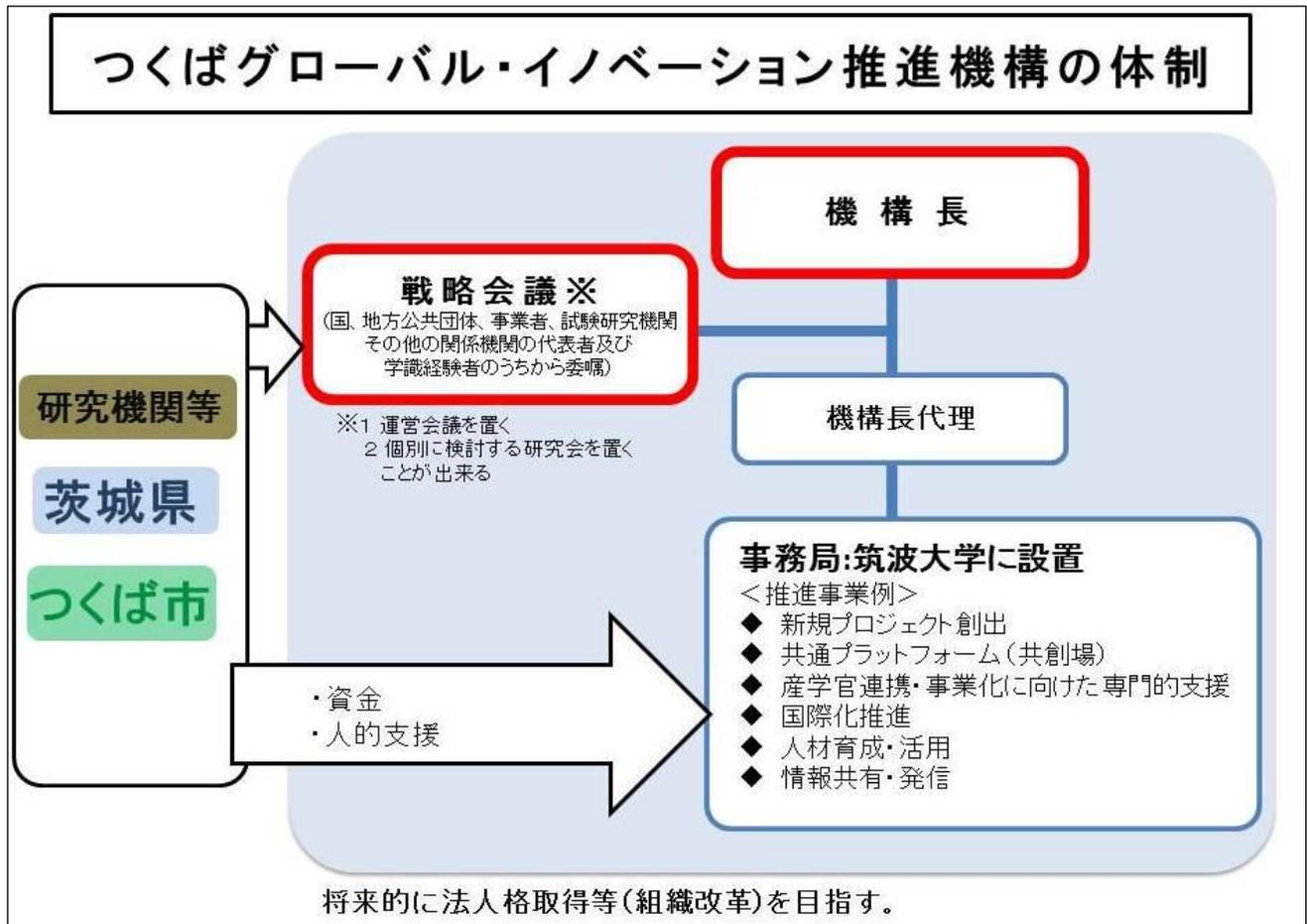
委 員 茨城県 橋本 昌 知事
つくば市 市原健一 市長
国立大学法人 筑波大学 永田恭介 学長
大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 鈴木厚人 機構長
独立行政法人 物質・材料研究機構 潮田資勝 理事長
独立行政法人 産業技術総合研究所 中鉢良治 理事長
独立行政法人 原子力研究開発機構 松浦祥次郎 理事長
一般財団法人 日本自動車研究所 豊田章男 代表理事 理事長
国立大学法人 一橋大学 米倉誠一郎 教授
一般社団法人 日本経済団体連合会 続橋 聡 産業技術本部長
茨城産業会議 鬼澤邦夫 議長

設置目的 つくば国際戦略総合特区の方向性等について審議する

任 期 平成25年6月1日～平成27年3月31日

※このプレスリリースについてのお問い合わせ
筑波大学つくばグローバル・イノベーション推進機構事務局
つくば市春日1-8-3 電話：029-853-7445（広報担当 大串）

【資料1】



【資料2】

つくば国際戦略総合特区の取組

～つくばにおける科学技術の集積を活用したライフイノベーション・グリーンイノベーションの推進～

I つくばを変える新しい産学官連携システムの構築

- ◆新しい産学官連携の仕組みを構築。システムの核となるつくばグローバル・イノベーション推進機構を設立
- ◆研究成果や研究資源の見える化、研究インフラの共用化等、共通のプラットフォームでプロジェクトを支援する。
- ◆4つの先導的プロジェクトに取り組み、ライフイノベーション、グリーンイノベーション分野で我が国の成長・発展に貢献
- ◆今後5年間で5つ以上の新しい産学連携プロジェクトを創出する。



II 先導的プロジェクトの推進

支援

4つの先導的なプロジェクトに取り組み、ライフイノベーション、グリーンイノベーション分野で国際標準の獲得や国際的モデルの提示により、我が国の成長・発展を牽引、世界的課題解決に貢献

ライフイノベーション

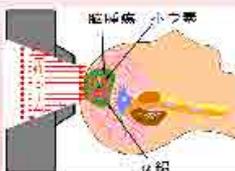
Project1: 次世代がん治療(BNCT)の開発実用化

◆死亡原因第1位のがんに対し、患者のQOLが高く経済的な負担も少ない画期的な次世代がん治療(BNCT)の実用化により、BNCTの国際標準モデルとして医療関連産業の国際展開を図る。

【取組】

- 病院設置・普及型治療装置の開発、薬剤等関連技術の高度化、BNCT専門スタッフの養成等

- 治療に用いるホウ素薬剤に係る薬事法の製造販売業の許可の特例措置による患者負担の軽減



Project2: 生活支援ロボットの実用化

◆世界に先駆けて生活支援ロボットの安全性評価基準を確立し、国際標準として提案することにより、「安全認証」を付したロボットで国内・世界市場を席巻し、つくばが我が国ロボット産業の国際競争力の強化を牽引する。

【取組】

- 生活支援ロボットの安全性基準の確立及び世界標準化、安全認証を行う国際拠点の形成等

- 医療機器の治験実施機関の基準に係る特例措置によるロボットの医療分野への拡大



グリーンイノベーション

Project3: 藻類バイオマスエネルギーの実用化

◆石油代替燃料として期待される藻類バイオマスの実用化を図るため、屋外大量培養とコストに見合う生産技術の確立を図り、世界的エネルギー問題の解決に資するとともに藻類産業の創出を図る。

【取組】

- 耕作放棄地を活用した藻類バイオマスの大量生産技術の確立と健康食品、医薬品等の高付加価値産業の創出

- 農地転用の特例措置による藻類バイオマスの実証実験の推進と耕作放棄地の再生



Project4: TIA-nano 世界的ナノテク拠点の形成

◆先端ナノテクノロジーの研究資源が集積するつくばの強みを最大限に活かし、国際競争力あるナノテク拠点を構築し、画期的技術の省エネ機器等の開発や人材育成を一体的に推進し、ものづくり大国・日本の復権と省エネルギー等の課題解決を図る。

【取組】

- ナノテクの産業化と人材育成を一体的に行う世界的ナノテク拠点の形成等

- 補助金適法化の特例措置による施設設備の共用化による研究開発の推進と市場化に際しての初期投資の軽減

